

令和7年度第1回成田市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和7年9月26日（金）  
開会：午後1時30分 閉会：午後2時10分

2 場 所 成田市役所6階中会議室

3 出席者 成田市長 小 泉 一 成  
成田市教育委員会  
教 育 長 日 暮 美智子  
教育長職務代理者 高 山 勇  
委 員 佐 藤 勲  
委 員 片 岡 佳 苗  
委 員 岡 本 秀 彦

（説明職員）

市長部局

企画政策部

企画政策部長 篠 塚 岳 史  
企画政策課長 浦 壁 拓 郎  
企画政策課長補佐 成 毛 満 久  
企画政策課企画調整係長 大 胡 佑 介

教育委員会

教育部

教育部長 松 島 真 弓  
教育部参事 藤 崎 清  
学校施設課長 大須賀 一 夫  
学務課長 井 上 功太郎  
教育指導課長 西 崎 祐 一  
生涯学習課長 神 崎 裕 一  
学校給食センター所長 福 島 由 規  
公民館長 菅 井 良 江  
図書館長 飯 田 幸 治

（事務局職員）

教育総務課長 高 仲 浩 一  
教育総務課長補佐 森 一 朗  
教育総務課総務係長 平 野 雅 大  
教育総務課総務係 室 井 健 佑

傍聴人：なし

## 4 議 題

### (1) 成田市教育大綱の策定について

## 5 会議概要

### ○ 開会

松島教育部長：

ただいまから、令和7年度第1回成田市総合教育会議を始めさせていただきます。私は会議の進行を務めます教育部長の松島でございます。よろしくお願いいたします。

本会議は、法の定めるところによりまして、原則公開としておりますが、現時点では傍聴希望者がおりませんのでご報告いたします。

なお、会議は開始となりましたが、定員の10人に達するまで傍聴の受付を行うこととしております。会議の途中でも傍聴希望者がいた場合には入室がありますので、ご承知おきいただきたいと思います。

それでは、はじめに、小泉市長より、ご挨拶をお願いいたします。

小泉市長：

皆さん、こんにちは。本日は、公私ともにお忙しい中、本年度第1回目となる総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、教育委員の皆さまには、平素から本市の学校教育や生涯学習などの充実発展のため、多大なるご尽力を賜わっておりますことに、心より、感謝を申し上げます。

さて、国では、令和5年6月に「持続可能な社会の創り手の育成」と「ウェルビーイングの向上」を基本コンセプトとして、第4期教育振興基本計画が閣議決定されております。

本市におきましても、教育分野に関する施策を総合的かつ体系的に進めていくことを目的とした、成田市教育振興基本計画の策定を進めているところでございますが、計画の策定にあたりましては、平成28年度に本市の教育に関する基本的な方針として策定した、成田市教育大綱についても、改めて検討する必要があると考えております。

そのようなことから、私からは本日「成田市教育大綱の策定について」を議題として提案させていただきたいと思っております。成田市教育大綱の考え方について協議していただくとともに、本市の教育に対する思いについて、各委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただき、有意義な会議にしたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

本日はよろしくお願いいたします。

松島教育部長：

小泉市長、ありがとうございました。

続きまして、教育委員会を代表いたしまして、日暮教育長より、ご挨拶をお願いい

たします。

日暮教育長：

皆さん、こんにちは。小泉市長におかれましては、大変お忙しい中、本年度第1回目の総合教育会議を開催いただき誠にありがとうございます。また、市長部局の皆様も、公務多忙の折ご参加いただきまして御礼を申し上げます。

本日は、先ほど市長からご提案がございましたとおり、「成田市教育大綱の策定について」を、議論してまいりたいと思います。

成田市教育大綱は、本市の教育目標や施策の根本的な方針や、本市の教育が目指す基本的な方向性を示した計画であります。また、「成田市学校教育振興基本計画」及び「成田市生涯学習推進計画」を統合し、新たに「成田市教育振興基本計画」を策定する中で、成田市教育大綱につきましても見直しを行う必要があると考えております。本日の会議では、皆さまから忌憚のないご意見をいただき、有意義な会議にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

松島教育部長：

ありがとうございました。それでは、議事に入ります。

ここからは、要綱 第4条 第1項の規定により、市長が議長となるところですが、同条 第2項に基づき、あらかじめ、市長からご指名をいただいておりますので、引き続き、私の方で議事の進行を務めさせていただきます。

なお、本日の会議では一人一台端末として市内小中義務教育学校に整備されたタブレット端末を活用して会議を行います。

## ○ 議題1 成田市教育大綱の策定について

それでは、まず、議題（1）の成田市教育大綱の策定について、教育総務課長から説明を願います。

高仲教育総務課長：

それでは、議題1「成田市教育大綱の策定について」をご説明させていただきます。

資料①「成田市教育大綱（現行）」の1ページをご覧ください。

教育大綱は、本市の教育が目指す基本的な方針として策定されるもので、平成27年4月1日改正施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3の規定に基づき、市長と教育委員会が協議・調整し、市長が策定するものとされております。そして、市長及び教育委員会は策定した大綱の下に、それぞれ所管する事務を執行することとなります。

本市では、教育基本法第17条第2項に基づく「成田市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として、平成27年度に策定した「成田市学校教育振興基本計画」と、市の生涯学習分野の基本計画である「成田市生涯学習推進計画」の2つの計画について、大綱の一部として位置付けております。

現在の教育大綱は、本市の教育目標や施策の根本的な方針や「学校教育振興基本計画」及び「生涯学習推進計画」に規定する根本的な方針を参酌した、本市の教育が目指す基本的な方向性を示した計画であると同時に、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育みながら個々の能力を伸ばし、将来に夢と希望を持って自分の進むべき道を切り拓く力とするため、さらには生涯を通して市民一人一人の能力や意欲を伸ばし、明るく、心豊かで、生涯を通じて学ぶことができるまちづくりを目指す、という趣旨から、平成28年6月に策定いたしました。

また、基本理念として「育てよう 心とからだ 学び合い みんなで築く 成田の未来」を掲げ、「学校教育振興基本計画」及び「生涯学習推進計画」に基づく7つの基本目標の実現を図ることとしております。

続きまして、資料②「成田市教育振興基本計画策定にあたって（骨子案）」をご覧ください。

こちらは、現在策定中の成田市教育振興基本計画の骨子案として、先日の教育民生常任委員会でも報告させていただいたものです。

資料の1ページから4ページには、国及び県の動向として、国の第4期教育振興基本計画や千葉県の第4期千葉県教育振興基本計画などの概要について、記載をしております。

資料の5ページ「成田市教育振興基本計画の概要について」をご覧ください。

本市ではこれまで、学校教育の分野において「成田市学校教育振興基本計画」を策定するとともに、生涯学習の分野において「成田市生涯学習推進計画」を策定し、各種教育施策を展開してきました。

両計画につきましては、どちらも令和7年度末をもって計画期間が終了となることから、教育分野に関する施策を総合的かつ体系的に進めるため、2つの計画を統合した「成田市教育振興基本計画」の策定に向けて準備を進めているところでございます。

続きまして、6ページの骨子案をご覧ください。

計画は第1章の教育大綱についてから始まり、6章構成を予定しております。現計画では別冊になっております教育大綱を、学校教育振興基本計画と生涯学習推進計画の統合に合わせて、計画冒頭に取り込む方向で検討しております。

続きまして、資料③「成田市教育大綱（改定案）」をご覧ください。

本市における教育大綱の位置づけは、これまでと変わらず、本市の教育が目指す根本的な方針として策定するものですが、教育大綱を策定した平成28年6月から約10年が経過していることから、教育を取り巻く環境が大きく変化する中、社会潮流や教育政策の動向を踏まえ、10年先を見据えた本市の学校教育と生涯学習推進の方向性を定める指針とするため、教育大綱の内容についても、新たに策定する教育振興基本計画と合わせて見直しを図ることといたします。

続きまして、教育大綱の基本理念ですが、学校教育振興基本計画と生涯学習推進計画を統合しますことから、策定中の教育振興基本計画の基本理念と同一の、年齢・性別・障がいの有無に関係なく、個々の特性に応じた学びや活動を保障する姿勢、学びの成果が地域や社会での活躍につながることで、ウェルビーイングの実現を図るなどの意味を込め「未来へつなぐ 誰もが自分らしく 共に学び 共に活躍できるまち

成田」とさせていただきたいと考えております。

続きまして、教育大綱の基本方針及び基本目標についてでございますが、こちらにつきましても策定中の教育振興基本計画に合わせたものとする 것을検討しております。各事業の取組の位置づけが分かりやすくなるよう、基本目標の上位に、目標間の横断的な視点として新たに3つの基本方向を設けるとともに8つの基本目標を掲げ、各種施策に取り組んでまいります。

まず、基本方向1の「未来を切り拓く「人」を育む教育の推進」につきましては、子どもたちが自立した個人として未来を切り拓き、一人ひとりが自分らしく活躍できるよう、基本目標1－(1)から(3)に掲げる、個々の多様な特性や能力を生かした教育を目指す目標や、子供たちの豊かな情操や道徳心を学校教育活動を通して育み、子どもたちのウェルビーイングの向上を図る豊かな心の育成に関する目標など3つの基本目標の設定を検討しております。

次に、基本方向2の「社会の変化に対応した教育環境の形成と学びの支援」につきましては、基本目標2－(1)から(3)に掲げる、将来の予測が困難な現代において、子どもたちや教職員にとってよりよい教育環境づくりを推進する目標や、社会の多様化が進む中、障がいの有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残されることなく教育の恩恵を享受することのできるよう、多様な教育ニーズに合わせた支援に関する目標など3つの基本目標の設定を検討しております。

次に、基本方向3の「誰もが自分らしく心豊かな人生を実現するための生涯学習の推進」につきましては、教養を高め、多様な人々と出会い、自己実現を図るための学習は、人生100年時代において、生涯を通じたウェルビーイングの実現につながる重要な意義を有するものであることから、基本目標3－(1)から(2)に掲げる、リカレント教育など生涯にわたり学ぶことのできる学習環境の構築に関する目標と、学習の成果を生かし、活躍できる機会の充実に関する目標の2つの目標の設定を検討しております。

次に、本日追加で配布させていただきました資料をご覧ください。

計画の策定に当たりまして、子どもにもわかりやすい表現を用いた概要版の作成を予定しており、この概要版に子どもの意見を反映させる取組として、小学校5年生から中学校3年生の児童生徒を対象としたアンケート調査を9月17日から30日にかけて実施しておりまして、本今朝時点での集計の結果となっております。

資料の1の1枚目には集計した結果のグラフが示されておりまして、2枚目にはアンケートの設問、3枚目は学校を通して配布したアンケートチラシを配布させていただいております。

こちらを見ていただきますと、問いの2番目の「今回の基本理念ですが、どのような印象を持っているか」については、「とても良いと思う」「どちらかといえば良いと思う」という回答が91%を占めておりまして、好意的に受け止められていることがわかります。

また、こういった点が良いと感じるかというところで、選択式ですが、「気持ちがいメージしやすい」「皆に伝わりやすい言葉だと思う」「成田市の考えがわかる」という

回答が多くなっております。

また、「この目標の基本理念の中で、どの言葉が気に入りましたか」という問いにつきましては、「誰もが自分らしく」と回答した割合が5割以上ということで、こちらに多くの意見が寄せられています。その他、自由記述式になっている箇所は、現在まだ集計が進んでいない状況ですが、この中で、「あなたの10年後はどんな自分になっていると思いますか」の問いについて回答の内容を確認したところ、「夢を実現できるよう頑張っている」「夢を実現できた」など、非常に前向きな意見が多数寄せられています。概要版の策定にあたり、アンケート調査の結果を生かせるよう取り組んでいきたいと思っております。

最後に、今後のスケジュールでございますが、教育振興基本計画につきましては、基本理念、基本方向、基本目標などについて策定委員会で検討を行いまして、計画素案策定の準備を進めているところでございます。

教育大綱につきましても、本日の皆様からのご意見を踏まえまして、11月に開催予定の次の総合教育会議におきまして、教育大綱を含めました教育振興基本計画の素案をお示しする予定でございます。

以上をもちまして、議題1 成田市教育大綱の策定についての説明とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

松島教育部長：

ただいま、教育総務課長から成田市教育大綱の策定について説明がありましたが、この内容に関して、市長からご不明な点等はございますか。

小泉市長：

不明な点はございませんが、成田市教育大綱につきましては、現在策定中の成田市教育振興基本計画における基本理念を共有し、計画の冒頭に取り込む予定であります。本日は、教育大綱に対する考え方や見直しの方向性について、皆様から多くのご意見を頂戴したいと思っております。

また、次の総合教育会議では、皆様からいただいた様々な意見を踏まえまして、新しい教育大綱の案を提案させていただき、改めて皆様と議論を交わしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

松島教育部長：

それでは、ただいま市長からも、教育大綱と教育振興基本計画を一つとして、冒頭に大綱を位置づけること、基本理念や基本目標も同一にするというようなことについてお話がございましたが、そうした新たな教育大綱の方向性につきまして、教育委員の皆様からご質問、ご意見などがございましたらお願いいたします。

佐藤委員：

いま必要なものが網羅されて良い指標であり、また、基本方向が新たに設定されたことで、目標がより見やすくなったと感じます。全体的に特に問題はないと思いますが、細かいところでウェルビーイングという言葉について、確かに国の計画などで使用されている用語ではありますが、まだ世間では一般的でない用語だと思います。そのため、この用語を使用する上では、もう少し説明を加えて使った方が、よりイメージとして掴みやすいと感じます。

片岡委員：

障がいの有無等に関わらずそれぞれの状況に応じていうことで、子どもたちのアンケートにも「自分らしく」「誰もが自分らしく」という声があったように、それぞれの自分らしさを生かす教育を行うためには、個々の対応が必要になってくると思います。今、教育現場は人材不足が一番の問題と考えます。どの市町もそうだと思いますが、ぜひ教育費に予算をつけていただき、子どもたちに細やかな指導をしていただきたいと思います。

岡本委員：

私も、教育振興基本計画と生涯学習推進計画を統合することは賛成です。

今回このアンケートは、小学生と中学生されておりますが、生涯学習施設の利用者、社会人とか退職者の方にも今後アンケートをされる予定はあるのでしょうか。

高仲教育総務課長：

昨年度に生涯学習施設の利用者に対するアンケートを実施しておりまして、今回追加のアンケート調査を行いましたのは、概要版の作成に当たり、児童生徒の声を聞くために行っているものです。今後は、概要版のスローガンを決めるアンケートの実施は予定しておりますが、それ以外のアンケート調査については、追加で実施する予定はありません。

高山委員：

アンケートの「この目標について良いと感じる理由は何ですか」の問いについて、「わくわくする」が12%ということですが、このわくわくする気持ちがもっと増えたらいいと感じます。全国学力状況調査の中でも、知的好奇心みたいなものが少し成田の子どもは劣っているかなといったところもありますので、もっともっと学びに対してわくわくするような期待感が必要と感じます。

松島教育部長：

本日追加でお配りさせていただいた小中学生のアンケートについて、先ほど教育総務課長からも説明がございましたが、概要版を作成するにあたりましてのアンケートということで、子どもたちにとりましても、この計画に該当する10年間というものが、成長の時期でもありまして、大切な時期であるのかなというふうに思っております。

それでは、他にご意見等がないようですので、本日の議題であります教育大綱の方向性については、本日ご説明申し上げました内容で皆様よろしいでしょうか。

教育委員：

問題ありません。

松島教育部長：

ありがとうございます。

ところで、9月20日に成田市こども未来政策委員会が実施されておりまして、委員の年代は小中学生よりも上の年代になるかと思いますが、小泉市長、ご参加されていかがでしたでしょうか。

小泉市長：

高校生や大学生または大学生の年齢に達している方々ということで、本当に自分たちも成田に生まれ育って、このまちを良くしたいという若者の気持ちが非常に強いものを感じました。また、まちづくりに自分たちも関わりたいという思いがあり、1人1人しっかりとした考えを持っておりました。その中で、成田の魅力をもっと対外的にSNSを使って発信したりですとか、子育てしやすい街にするためにはどうすればよいか、学校終わりの自習する場所が少ないなど、様々な意見や提案をいただきました。

市としては、委員会で若者からいただいた提案を何とか実現したいなと思っており、来年度の予算編成を含めて、取り組んでいる最中でございます。

松島教育部長：

詳細のご説明ありがとうございました。当日の子どもたちの様子がとてもよくわかりました。委員の皆様から何かありますでしょうか。

佐藤委員：

私もケーブルテレビを拝見しまして、なかなかしっかりした意見を言っていると感じました。今予算をつけてとおっしゃいましたが、やはり子どもたちが意見を言って、それを取り上げてくれるという体験が、さらに市に対して意見を言ってみようかなと感じることにつながると思うので、ぜひ実現に向けて取り組んでいただきたいなと思います。

松島教育部長：

ここまでで、日暮教育長何かございますでしょうか。

日暮教育長：

本日は、多様な視点からのご意見本当にありがとうございました。教育委員会では成田市教育振興基本計画の策定に係るアンケート調査ということで、先ほど現時点で



の結果を示させていただきました。

調査項目の一つに、「あなたの１０年後はどんな自分になっていると思いますか」の項目がありまして、いくつかご紹介します。読売ジャイアンツの主力でタイトルを取ってリーグ優勝、日本シリーズ優勝のように本当にわくわくする夢、毎日笑顔で楽しい日だと心の底から思えるような人になってほしい、無理せず一人で抱え込まないで他人を信用できるようになってほしい、謙虚で誠実な人になってほしいのように、私のように年齢を重ねたものでも、心にジーンとするようなものを書いてくれたものもありました。

また、自分のやりたいことにきちんと向き合い全力で取り組んでいると思いますというような心強い言葉を書いた中学生もありました。

あわせて、先ほど市長からもお話がありましたが、成田市を支える人になりたいとか、成田市で働いてると思いますのように、成田とか成田空港という言葉が、本当にあちこちに見られ、成田を愛する子どもたちが多くいることが分かりました。

今後も教育振興基本計画の策定状況について、小泉市長と共有させていただきながら、市長に策定いただく成田市教育大綱をもとに、１０年後の成田の子どもたちを見据えて、今輝いている子どもたちがより輝けるような成田の教育の指標となるような計画にしたいと思っております。

また、この教育大綱や教育振興基本計画について、子どもたちが自分事として受け止められるよう、概要版の作成を含めて、引き続き策定に向けて取り組んでまいります。

松島教育部長：

日暮教育長ありがとうございました。

それでは、最後に成田市教育大綱の策定につきまして、小泉市長からのご意見を賜りたいと存じます。

小泉市長：

委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

成田市教育大綱の策定にあたりましては、本日いただいた意見を受けとめ、教育委員会と市長部局とがしっかりと議論を深め、本市の教育環境の充実に向けて協議してまいりたいと考えておりますので、次回も引き続きよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

松島教育部長：

小泉市長ありがとうございました。本日の総合教育会議はこれを持ちまして終了とさせていただきます。なお、次回の総合教育会議は１１月７日（金）の開催を予定しております。本日はありがとうございました。

○ 閉会